

平成30年度

県弓道大会要領

自 平成30年4月

至 平成31年3月

埼玉連の大会では、入賞者をホームページに掲載しています。公表を希望されない方は、大会参加申込書の「特記」欄にホームページへの掲載を希望しない旨明記してください。



埼玉県弓道連盟競技委員会

はじめに

この大会要領は、紙面の都合もあり、その基本的要件についてのみ掲載したので、次の事項にご留意の上、ご協力の程宜しくお願い致します。

記

- 1 参加資格 県内大会は、特別な大会を除き、埼玉県弓道連盟の一般会員であること。
- 2 審判員 この要領の中で、プログラムを作成しない大会の審判員は、次の様にお願致します。

審判長 埼玉県弓道連盟会長
審判員 顧問、副会長、正副理事長、常任理事、支部長及び会長から任命された方
的前審判 的前係

- 3 各係の業務分担については、次の事項にご留意の上、ご協力願います。

総務係 受付、接待担当。受付は当日の出欠・変更を記録して競技前に各係に連絡する。使用ゼッケンの管理も行う。
招集係 射場外で円滑に競技ができる様に、進行係・記録係と密接な連携をとり選手を導く。弦巻の管理も行う。
進行係 射場内で競技の進行全般を担当する。招集係・記録係・的前係と密接な連携をとり競技を進める。
記録係 競技上の問題が生じた場合には一時競技を停止し、競技委員長・審判長等の判断のもと競技を進める。
的前係 的前係と密接な連携をとり、的中・得点を適切に記録するとともに、掲示板の記録用紙に記入する。
全記録結果表を大会終了後に競技委員長に提出する。
的中・得点を適切に判断を下し、安全を確認し射場に明確かつ速やかに伝える。
競技前に塚の清掃・的付け、的中表示盤の点灯確認等をする。

※ 競技終了後、総務係・進行係は選手控室を、招集係・記録係は射場内外の清掃・整備をする。的前係は塚の清掃・的張りをする。

- 4 参加申込 競技委員会は大会案内、申込書等を、支部長又は支部担当者を通じて送付する。支部長又は支部担当者は、参加者を競技委員会に報告する。競技委員会は申込書をもとに大会表を作成する。原則としてID申込みとする。

競技の運営、運行にあたりましては、各支部選出の競技委員を中心に、各支部の選手の積極的な参加のもとに、大会が滞りなく終了することにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会場使用にあたっては、備品の利用等で借用先に迷惑をかけないよう、競技委員並びに選手一人ひとりが心を配り、次の利用者が気持ち良く利用できるよう、必ず元の位置に戻し、常に整理整頓をすることを心掛けるようお願い申し上げます。

埼玉県弓道連盟競技委員会

委員長 岡芹喜行

平成30年度 県弓道大会要領 埼玉県弓道連盟競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競 技 会 名 (実 施 会 場)	大 会 運 行
平成30年 5月15日(火) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30) 6月4日(月) 7月2日(月) 9月3日(月) 開館時刻 (9:00)	全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会 兼 第30回埼玉県実 年者弓道選手権大会 ねんりんピック錬成会 〃 〃 県立武道館 [上尾市]	○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○射数は10射、一手1回・4ツ矢2回、坐射で行う。 ○参加資格 60才以上(年度内に60才になる者は可) ○参加申込にあたって、ねんりんピックと実年者のどちらか又は 両方への参加種別を明記して申し込む。 ○さいたま市の選手はねんりんピック予選に参加する場合、埼 玉県又はさいたま市のどちらでの選考エントリーか明記のこと。 ○ねんりんピック選手選抜 選手7名(内女子2名・70才以上1名を含む)選出し、その内1名 を監督とする。 ※チームは埼玉県及びさいたま市の2チームを決定する。 ○表彰 入賞は5位迄、賞状は3位迄授与する。 総務＝東部支部、 招集＝西部支部 進行＝県南支部、 記録＝中部・県北支部 的前・的張＝県央・秩父支部 介添＝県北支部
5月26日 (土) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	埼玉県弓道選手権 等大会兼各種選考会 【称号者の部】 県立武道館 [上尾市]	○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○竹弓、竹矢を使用のこと。 ○射数は6射、3人立、4射場で一手3回・坐射で行う。 ○入賞は、5位迄・賞状は3位迄授与する。 ○全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。 ○前年度優勝者には、レプリカを授与する。 ○関東・三県選抜弓道大会出場候補者及び全日本選手権 大会出場候補者並びに都道府県対抗弓道大会出場候補者 を、男女10名程度選出し、 後日予選会を行う。(※6月9日(土) 県立武道館にて) ○世界大会ブロック大会が開催される場合は、2次予選選出者 から選手を選出する。 ○連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・ 電話番号・E-Mailアドレス等を記録しておくこと。 総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝東部支部、 記録＝県南・西部支部 的前・的張＝中部・県北支部 介添＝県南支部

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会 運 行
5月27日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	同上 【有段者の部】 県立武道館 [上尾市]	<p>○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○射数は6射、3人立、4射場で一手1回4ツ矢1回・坐射で行う。 ○表彰は、四・五段及び参段以下の部の2種別とし、 入賞は、5位迄、賞状は3位迄授与する。 ○全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。 ○前年度優勝者には、レプリカを授与する。</p> <p>○関東選抜弓道大会有段者の部及び 三県選抜弓道大会四・五段の部出場候補者 並びに都道府県対抗弓道大会出場候補者 10名程度を選出し、後日予選会を行う。 (※6月9日(土) 県立武道館にて)</p> <p>○世界大会ブロック大会が開催される場合は、2次予選選出者 から選手を選出する。 ○三県選抜弓道大会参段以下の部 出場選手5名・補欠1名を選出する。 ○連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・ 電話番号・E-Mailアドレス等を記録しておくこと。</p> <p>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部 進行＝県北支部、 記録＝東部・中部支部 的前・的張＝県南・西部支部 (矢渡し、無し)</p>
※ 6月9日 (土) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	全日本弓道選手権 大会等選考会 県立武道館 [上尾市]	<p>○5月26日、27日の県選手権大会において選出された選手を もって二次選考会を行う。 ○立順表を作成する。 ○5人立、2射場で行い射技の採点と的中数を加味して選出する。 ○射数は当日決定する。</p> <p>○全日本選手権関東ブロック大会出場候補選手を男女5名ずつ 選出する。</p> <p>○関東選抜選手権出場候補選手を称号者、有段者各5名 ずつ選出する。</p> <p>○群馬・栃木・埼玉 三県選抜大会出場候補選手を称号者、 四・五段の選手をそれぞれ5名ずつ選出する。 *参段以下の部5名は、選手権で決定済み</p> <p>○都道府県対抗弓道大会出場候補選手を50歳未満2名・ 50歳以上3名(うち女性1名)＋補欠3名以内を選出する。</p> <p>※東部・県央・県南支部の競技委員で役員を構成すること。</p>

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会 運 行
7月1日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第30回埼玉県弓道 遠的選手権 等大会 県立武道館 [上尾市]	<p>○5月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○種目種類 遠的60m個人競技</p> <p>○種 別 男子の部 : 五段以上、四段以下。 女子の部 : 五段以上、四段以下の4部門とする。</p> <p>※全日本遠的選手権大会参加選手区分による。</p> <p>○競技方法 射行は100cm霞的使用、立射・一手1回、 4ツ矢2回 計 10射。(五段以上は、竹弓を使用のこと。)</p> <p>○入 賞 各部3位まで、賞状を授与し、各部最高の中者をも って競射し、優勝者には、選手権賞を授与する。</p> <p>○全日本遠的選手権大会出場候補者に男女10名程度を選出し 後日予選会を行う。(※7月8日(日) 県立武道館にて)</p> <p>◎全日本遠的選手権大会出場者は、射品・射格を加味し、該当 選手に通知する。</p> <p>総務＝東部支部、 招集＝県南支部 進行＝西部支部、 記録＝県央・秩父支部 的前＝中部・県北支部 介添＝西部支部</p>
※7月8日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第69回全日本弓道遠的 選手権大会出場選手 二次選考会 県立武道館 [上尾市]	<p>○7月1日の県遠的選手権大会において選出された選手を もって二次選考会を行う。</p> <p>○立順表を作成する。</p> <p>○距離は60m、79cm霞的使用する。</p> <p>○4人立、2射場とし、一手1回、4ツ矢1回を行い、休憩後に 一手5回を行い、射技の採点と的中数を加味して選出する。</p> <p>○男女各3名ずつ選出する。</p> <p>※東部・県央・県南支部の競技委員で役員を構成すること。</p>
7月21日 (土) (9:30)	第31回埼玉県民総合 体育大会 【弓道中学生の部】 兼 第15回全国中学生 弓道大会埼玉県予選会 秩父第一弓道場 [秩父市]	<p>○5月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○運営及びプログラムの作成等は競技委員会で行う。</p> <p>○大会役員は、秩父支部長、秩父支部会員及び各中学校等 の弓道部顧問が当たる。</p> <p>○成績結果を、全弓連及び県体本部に送付する。</p> <p>介添＝秩父支部</p>

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会 運 行
9月2日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第56回埼玉県勤労者 弓道選手権大会 県立武道館 [上尾市]	<p>○7月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○参加資格 埼玉県弓道連盟会員で、勤労者であること。 (勤労者の適否は、各支部長の判断によるものとする。)</p> <p>○チーム編成は、同一の官公庁、会社等に在籍する者で編成することを原則とし、無理な場合、同一の道場でのチーム編成を認める。それでもチームができない場合、個人戦のみ参加と特記のうえ申込みこと。</p> <p>○競技方法 3人1チームとし、団体12射(各自4射)での中6中以上の上位32チームまでを予選通過とする。 (32チームに満たない場合にはシード枠とする。) 決勝トーナメント戦:団体6射(各自2射)同中の場合は、各自1射の競射とする。 個人戦は団体予選の的中をもって、個人の成績とし、4射皆中の者をもって射詰めを行う。 (4射皆中者がいない場合のみ3中者で順位決定)行射時間制限を採用する。 個人戦のみ参加者は団体予選後の立順とする。</p> <p>○入 賞 団体3位(3位2チーム)まで、個人10位以内。 技能賞若干名は個人決定戦の中より選定する。</p> <p>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝中部支部、 記録＝県北・県南支部 的前・的張＝東部・西部支部 介添＝県央部支部</p>
9月16日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第31回埼玉県民 総合体育大会 【弓道・一般の部】 近的・遠的 県立武道館 [上尾市]	<p>○6月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○各支部で予選会を行い、参加人員と予選通過者を、競技委員会宛報告する。</p> <p>○競技の種別は、女子、参段以下、四・五段、及び称号者の部、の4部門とする。</p> <p>○選抜は原則として、同一市町村居住者でのチーム構成とする。但し、選手不足の場合は支部内市町村居住者であれば他市町村居住者との併合も可とする。 *各支部予選会では、他支部所属の選手が同一居住市町村チームとして出場することを可とするよう配慮する。 *同一種別内で同一市町村の選手でのチーム構成ができる場合、チームを分割して他市町村の選手が入る構成は認めない。</p> <p>例:A市チーム(A市・A市・A市)、B市チーム(B市・B市・B市)は○ ABチーム(A市・A市・B市)、BAチーム(B市・B市・A市)は× ACチーム(A市・A市・C市)、BDチーム(B市・B市・D市)は○ 種別毎3チーム以内(同一市町村複数でも可)とし、その選考は、当該支部の任意とする。</p> <p>○同一チーム内の大学生(一般会員)は2名以下とする。</p> <p>○立 順 近的競技は、①参段以下②称号者③女子及び④四・五段の部の順に行う。 遠的競技は、①女子②四・五段③参段以下及び④称号者の部の順に行う。</p>

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
		<p>○競技方法 近的競技は、的中制による団体は12射(各自4射)とする。個人は団体競技の個人成績による。遠的競技は、得点制により、団体・個人とも射数等は、近的競技と同じ。行射時間制限を採用する。</p> <p>○表 彰 近的・遠的とも、団体3位、個人3位まで、賞状を授与する。</p> <p>総務＝東部支部、 招集＝中部支部 進行＝県北支部、 記録＝西部・秩父支部 的前・的張＝県央・県南支部 介添＝東部支部</p>
<p>11月25日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)</p>	<p>第16回埼玉県武道大会 【弓道大会】 県立武道館 [上尾市]</p>	<p>○7月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○競技方法:中学生は、個人戦とし、支部対抗は高校男・女、一般男・女各5名で構成し、各自一手1回四ツ矢1回の6射で的中総数をもって順位を決定する。個人戦は団体戦の個人成績をもって順位を決定する。尚、団体戦は行射時間制限を採用する。 ○賞状・賞品等は団体、個人ともに3位まで。</p> <p>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝東部支部、 記録＝県南・西部支部 的前・的張＝中部・県北支部 介添＝中部支部</p>
<p>平成31年 1月6日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)</p>	<p>埼玉県弓道連盟新年 初射会・昇段昇格者披露 及び優秀選手表彰 県立武道館 [上尾市]</p>	<p>○11月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ①巻藁射礼 ②矢渡し ③一ツ的射礼 ④持的射礼 ⑤祝射 ○一手皆中者は、射詰で順位を決定する。 ○入 賞 有段者・称号者とも5位まで、賞状は3位まで授与する。 ○昼食、蜜柑等は、埼弓連で準備する。</p> <p>総務＝東部支部、 招集＝県南支部 進行＝県央支部、 記録＝西部・県北支部 的前・的張＝中部・秩父支部 介添(巻藁)＝中部支部 介添(矢渡し)＝秩父支部</p>

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
3月3日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第66回全日本勤労者 弓道選手権大会 埼玉県予選 県立武道館 [上尾市]	<ul style="list-style-type: none"> ○1月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○射数は、4ツ矢3回の12射で行う。 ○2位及び4位の同点競射は各自一手で行う。 ○競技方式により、的中上位の2チームを、予選通過(埼玉県代表)とする。 ○予選通過の事業所等に、当該大会要項及び申込書を渡し、開催地受付に参加申込みの手続きをさせる。 ○行射時間制限を採用する。 ○運営等は、競技委員会の全役員で執り行う。 ○終了後、競技委員研修及び翌年度大会要領(案)の検討を行う。
3月10日 (日) 受付時刻 (9:00) 開始時刻 (10:00)	神奈川弓連・埼弓連 弓道指導者 交歓親善射会 神奈川県立武道館 [横浜市]	<ul style="list-style-type: none"> ○1月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○参加資格 称号受有者。 ○5人立、2射場にて行射する。 ○射数は参加人数により決定。

行射時間

3人立	坐射	各自4射 7分30秒以内 各自2射 4分30秒以内
	立射	各自4射 6分30秒以内 各自2射 4分以内

5人立	坐射	各自4射 10分以内 各自2射 6分以内
	立射	各自4射 9分30秒以内 各自2射 5分30秒以内

(弓道競技規則 より)